

中執ニュースレター No.8

2005年9月15日発行

東京農工大学職員組合 中央執行委員会

9月号の内容

給与見直しの動きに厳しい目を	1
第13回中央執行委員会の報告	1
第2回学長交渉の要点	2
農学部長交渉・FSセンター長交渉の報告	3
「みんなでサッカーを見に行こう」のお知らせ	4
原水爆禁止2005年世界大会に参加して	4
8・9月の活動	6
編集後記	6

給与見直しの動きに厳しい目を

虫の音が秋の宵を楽しませてくれる今日この頃です。いかがお過ごしでしょうか。8月には、国家公務員に対する人事院勧告で2年ぶり3度目となる賃下げと、地域給を導入する給与構造見直し案が示されました。実施されれば、公務員だけでなく民間企業の賃下げにも拍車をかけ、地域間の給与格差を拡大するおそれがあります。国立大学法人となった本学職員の給与は基本的に人事院勧告により左右されないはずで、今後、給与に関する大学経営側の姿勢に対して厳しく臨む必要があります。

さて、4月から展開してきました組合に入ろう！キャンペーンでは、退職者を大きく上回り、二桁の新規組合員の加入を実現しました。ご協力いただいた職場代表者・組合員の皆様に御礼申し上げます。執行委員会では、キャンペーン期間を10月まで延長して、引き続き加入活動を進めていくこととしました。皆様のご理解とご協力をお願いします。

第13回中央執行委員会の報告

第13回（9月1日開催）中央執行委員会の議事について報告します。

（1）組合に入ろう！キャンペーンについて

キャンペーン期間を10月まで延長して、組合員の増加を図ることを確認しました。勧誘対策として、各職場代表者からいただいた情報をもとに執行委員が出向いて説明することにしました。また、キャンペーンの一環として、次のイベントを開催するこ

とにしました。

【サッカー観戦】10月15日 味の素スタジアム 15時より

詳しくは、後段のお知らせをご覧ください。

【ボーリング】・・・11月中旬を予定しています。

(2) 学長・部局長交渉の総括

学長交渉および部局長交渉について、次のような総括としました。

学長交渉では全体的に好意的で、対話する姿勢がみられた。幾つかの新しい情報もあり、組合の要求によって前進したこともあった。人事管理や学部運営における学部長の指揮権については、組合としても詰めが必要であり今後引き続き協議していく。

農学部長交渉とFSセンター長交渉では、事前に要求書を出してあったので円滑に交渉できた。権限が無いとの理由から回答がないものもあった。意見交換は継続することで合意したことは意味あることだ。

(3) 支部規約等の改正について

前年度大会では法人移行に伴う組合規約の改正を行いました。今年度の大会や支部総会では各種細則の改正を進めることとしました。法人化や現組織体制に合わせた規則改定が必要になっています。

(4) 労働規約の締結について

職員組合が労働組合法に基づき活動し、大学経営側と交渉するためには、労働協約を締結する必要があるため、前執行部が作成した原案を基に、協約締結を進めることとしました。

その他、主な議題は次の通りです。

平和行動の報告について、技術職員の超過勤務報告書の書式について、人事院勧告の学習会について

第2回学長交渉の要点

第2回学長交渉に先立ち、7月27日、29日に人事課長と予備交渉を行いました。内容については、添付ファイルをご覧ください。8月30日(火)10:00~12:40に第2回学長交渉を行いました。ここでは、概要を報告します。

(1) 学長選考制度について

組合は、学長選考では学内構成員による意向調査の尊重を明記するよう選考制度規則の改善を求めました。それに対して、学長は学長選考は選考委員会の権限で行うものとの一般論を述べる一方で、学内構成員の支持が得られなければやっていけないと思っている、と述べ意向調査の結果は尊重されるべきものとの見解を示しました。また、解任手続きについては経営協議会に諮って行くと回答しました。

(2) 大学の管理・運営について

組合は大学運営における教授会や評議会の意見を尊重した運営を要求しました。そ

れに対して学長は、経営責任を明確にする以上トップダウンにならざるを得ない側面があるが、大学構成員の意向に添う決定を行うことが重要だと考えている、そのような運営に心がけるし、文化を育てていきたいと考えている、と回答しました。また、18年度財政危機については、職員の給与を守ることは経営者として当然だと考えている、と述べて職員給与が減額になるようなことはしないと述べました。

(3) 労働条件の改善について

組合は最近増加している職場のいじめや各種ハラスメントについて対応するため、人権委員会等の設置を要求しました。これに対して学長は、苦情処理も含めたハラスメント対応委員会を作る検討をしている、顧問弁護士の知識も活用できるようなことも検討したい、と改善策を示しました。

組合は、人事評価システムの導入では慎重な検討を重ねて要求しました。学長は、教員の人事評価システムについて2007年度導入に向けて検討を進めていることを明らかにしました。

(4) 職種別の要求について

組合はチーム制移行後の調査と不備改善について要求しました。学長は、年内に調査を行い、不備なところは改善していくと約束しました。また、責任と給与のアンバランスについても段階的な改善を進める、学部長等と事務系統のあり方についても見直しが必要と述べました。

組合は図書館機能の充実が求められていることから正規職員の不補充解消を求めました。これに対して学長は、図書館の重要性を述べる一方で、現状の人員でやり繰りしたい、と述べるにとどまりました。

組合は技術部のあり方と技術職員の技術向上の方策について改善を求めました。学長は、技術部を作ったことで、処遇改善、研修による資質向上などの成果につながった、と評価したものの、技術職員が教室に所属する形態では、技術部のまとまりで技術向上を進めていくことは実質的に困難、との現状認識を示しました。

(中執書記長 東城清秀 記)

農学部長交渉・FSセンター長交渉の報告

職員組合府中支部では、部局長交渉として、農学部長交渉(8/29)およびFSセンター長交渉(8/31)を実施しました。

農学部長交渉では、技術職員の人事計画、駐車場問題、ハラスメント、宿舎関係、事務職員の新人事評価、助手の昇格など幅広い問題を、FSセンター長交渉では、施設設備の充実、技術職員の補充問題など重要事項を取り上げました。

いずれの交渉でも、組合の部局長交渉が職員の意向・要望を汲み上げる重要なルートであること、今後も交渉の機会が設けられることが確認されました。

交渉内容の要旨は、別途、組合員のみなさんにお知らせします。

(府中支部書記長 鈴木 馨 記)

みんなでサッカーを見に行こう」のお知らせ

組合ではサッカー観戦を次のように企画致しましたのでぜひご参加下さい。

【 F C 東 京 VS サンフレッチェ広島 】

(日時) 10月15日(土) 15:00 ~

(場所) 味の素スタジアム

(費用) 大人 1000円(組合員・非組合員共)
子供 無 料(中学生以下)

申し込み方法(詳細は案内のチラシをご覧ください)

申し込みは先着30名様までとさせていただきます(締め切り9月28日)

申し込みは府中組合事務室へご連絡下さい(メール、電話でもOKです)

チケットは現金と引き替えにお渡し致します

1家族につきお子様はお2人までとさせていただきます

原水爆禁止2005年世界大会(長崎大会)に参加して

佐世保からみえるもの

田中幸夫

8月8日の移動分科会に参加し、佐世保港を視察した。初めての長崎そして佐世保である。佐世保に到着し、佐世保原水禁の方々にお世話になった。我が班は、最初に弓張岳から佐世保港を一望することとなった。山頂へ行く途中で、昨年女子小学生が同級の首を傷つけ殺生した小学校の前を通った。山腹にある小さな綺麗な小学校で、多分全児童の名前も顔も知っていると思われるような規模である。なぜ、こんなところで、悲惨なことが起こるのだろうか、そして日本の中で、教育の中で何かが起こっているのだろうか。次々と起こる児童、中高生の問題。なぜ安易に人を傷つけ、殺すことができるようになったのかと考えさせられた。

山頂から佐世保港を見おろすと、港



内には自衛艦や灰色の艦しかみえない。ここは軍港なのだ。アメリカ軍の艦は山頂からは見えない。この港の83%は米軍に占有権があり、民間は残りの17%しか使用できない。日本の港でありながら、米軍のものである。

次に海上から港内を視察した。45分のクルーズである。当然、普通の船（商船）の行き来はなく、自分達の乗った船のみが自衛艦のまわりをめぐる。米軍の主要戦艦エセックスは、港内奥深くの米軍の棧橋に横づけされており、日本の自衛船はまるでそのつゆ払いみたいなものであった。海上からは民家に近い（約70m）地下弾薬



庫、原潜のための補給基地、大改装中の棧橋等がみられ、いずれも軍事目的である。ここは日本であって、日本でない。平和の中にありながら、港内は戦いの場とつながっている。外から（陸上）は、決して見えない。一方でこれらの港内の土木、施設の工事に多くの会社関わっている。日本の巨額な税金を使用しながら、佐世保の人々に潤いを持たせているではないか、日本を守っているではないかというアメリカの声が聞こえてきそう。

前日の長崎でのつどいでは多くの若者が原水爆禁止をとえ、アメリカやフランスの若者が意見を述べた。私達、日本人は戦後60年が過ぎ、平和ボケしてしまったのだろうか。世界の平和、人類の幸せについて、考えるよい機会であるとともに、私に何が出来るのかをつきつけられた3日間であった。最後に、多くの日本の若者が参加していることに、何かほっとしたものを感じた。



田中幸夫さんには、職員組合の代表として原水爆禁止2005年世界大会（長崎大会）に参加していただきました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

8・9月の活動

- 8/2 第12回中央執行委員会
- 8/9 府中支部職代会
- 8/29 農学部長交渉
- 8/30 学長交渉
- 8/31 F Sセンター長交渉
- 9/1 第13回中央執行委員会
- 9/6 都大教幹事会

編集後記

今年の夏はことのほか「暑い」と思って居りましたが、なんと今回は平塚が担当と、とんでもない仕事が廻ってきました。今期の執行部はスーパーマンがごとく「行事」「交渉」「組合に入ろう」キャンペーンと取組中ですが、とりあえず（工）の事務室の1日を報告します。

まずは組合費の手元集金の方にTEL、相手が学内にいれば“ラッキー”「これから持参します」との返事で1件落着。庶務ポストに行くが特にナシ。「昼休み行っていいですか？」と電話が鳴り、どうぞ、どうぞと今日は女性が4人集まりお弁当を食べながら、事務評価のこと、用紙は3枚作ったこと、面接のこと、パートには今のところ来ていない、と会話も弾みこの場に非組合員の方が1人ご一緒だったので「あなたもここでのお茶代と思って組合に入りなさいよ」とお誘いして1名増。これでこの夏女性が3名増えて居りますが女性部の田中先生とご相談して歓迎会を準備中。その後に支部書記長が組合費を集金した分届けて下さり今日は1日終わり。こんなラッキーな1日はめったにない！！

みなさまに残暑お見舞い申し上げます

（平塚信子）

発行 2005年9月15日

東京農工大学職員組合中央執行委員会

TEL: 042-367-5797 (府中)

042-388-7202 (小金井)

E-mail: kumiaif@cc.tuat.ac.jp

HP: www.tuat.ac.jp/~kumiai/index.htm